

令和4年度

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

中間報告会のご案内 (YouTube 配信)

令和4～5年度研究主題

考える子を育てる —これからを生きる子どもたちと ICT—

本校では、子どもたちの積極的な社会生活への参加を教育目標として、教育実践に取り組んでいます。令和元～3年度の研究では、発達支持的生徒指導(育てる生徒指導)に重点を置き、子どもたちの考える力を育むことを目的に研究を進めてきました。

本年度はさらに ICT 活用の視点を加えて研究を進めています。現在は、ICT を誰もが当たり前で使うことができる時代です。そして、ICT は知的障害のある子どもたちの認知や思考、コミュニケーションを補い拡大する、強力なツールとなります。子どもの考える力を育むことにつながる ICT の活用について、研究経過を報告します。

配信期間

令和5年2月16日(木)～令和5年2月26日(日)

配信方法

YouTube による限定配信

配信内容

①学校研究概要

②各学部による実践研究の経過報告

③講演

『知的障害特別支援学校における ICT を活用した授業づくり』

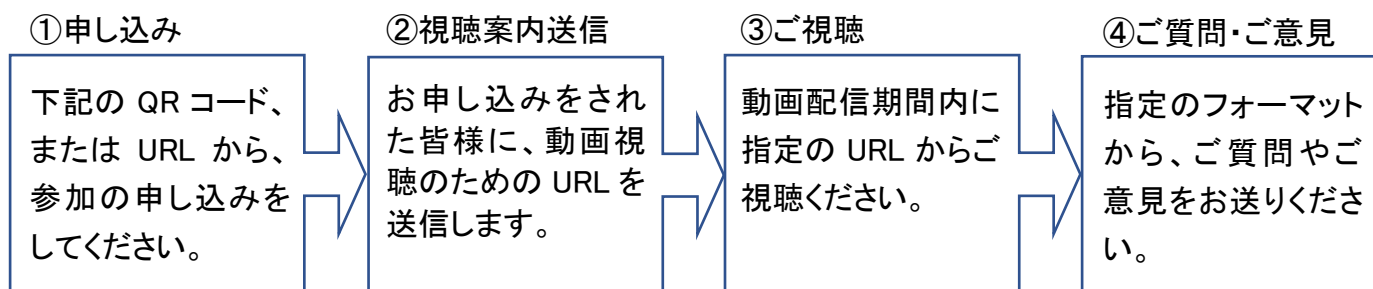
講師:原田 晋吾先生(東京家政学院大学)



各グループの概要

	学部・テーマ	概要	協力者
A	<p style="text-align: center;">小学部</p> <p>わくわく・だいすき・それいいね！ ～子どもたちのやる気を引き出す～</p>	「これ、やってみたい！」「いっしょにあそびたい！」「みんなにつたえたい！」と子どもたちが自ら、動きたくなるような取り組みを日々めざしています。今回は子どものやる気を引き出し、“考える子”につなげていけるよう、各学級（低・中・高）において PowerPoint、iPad、動画を用いて実践します。	武田 鉄郎 先生 (和歌山大学)
B	<p style="text-align: center;">中学部</p> <p>知ろう！考えよう！ 自分のこと・友達のこと</p>	生徒が視覚的にまたは、客観的に自分のことを捉えたり、自分のことについてまとめ、発表したりする学習では、カメラ、ムービー機能、Keynote などを活用します。3年間の系統性も考えながら、自己理解・他者理解を深めることをめざしています。	古井 克憲 先生 (和歌山大学)
C	<p style="text-align: center;">高等部①</p> <p>チャットを使って 思いや考えを伝え合おう</p>	コミュニケーションのツールとしてチャットを用いることで、主体的に他者とかがわる姿を引き出すことをめざします。相手に伝えたいという思いを持ちたり、相手からの言葉を落ち着いて受け入れ、応答したりすることができることをねらい、取り組んでいます。	竹澤 大史 先生 (和歌山大学) 豊田 充崇 先生 (和歌山大学)
D	<p style="text-align: center;">高等部②</p> <p>「協力」している自分って どんな姿か振り返ろう</p>	「協力」をテーマに学級でドミノ並べ・倒しに取り組み、その様子を撮影した動画を学級で視聴し、意見を出し合いました。自分の姿を客観的にとらえることで、自分の良さや課題を見つめ、協力するために大切なことについて気づけるような取り組みをめざしています。	山崎 由可里 先生 (和歌山大学)

お申し込みからご視聴までの流れ



お申込締め切り: 令和 5 年 2 月 10 日(金)

お申込み用 URL: <https://forms.gle/qh8jcmQTHyekTwoP7>

和歌山大学 支援学校



お申込み用 QR コード

お問い合わせ

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

〒641-0031

和歌山市西小二里 2 丁目 5-18

TEL: 073-444-1080 FAX: 073-447-2597

Mail: wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp